

パナマ共和国 ラモン・フランコ海事庁商船局長の表敬訪問

パナマ共和国のラモン・フランコ海事庁（AMP）商船局長が、4月23日（木）に当協会を表敬訪問しましたので、その概要について以下お知らせします。

【面談概要】

日付：2026年4月23日（木）

場所：日本船主協会

出席：パナマ海事庁 ラモン・フランコ商船局長

パナマ大使館 ワルテル・コーエン大使、  
アレハンドロ・デ・レオン在神戸総領事、  
フランクリン・エスピノッサ セグマル東京チーフ、  
ネルソン・アグラザル セグマル今治チーフ、  
セサル・サンフル在東京総領事館マネージャー、他

日本船主協会 長澤会長、加藤副会長、篠原理事長、越水常務、平尾常務、他

冒頭、長澤会長からは、フランコ AMP 商船局長の来日に心からの歓迎の意を表明するとともに、日本商船隊の半数以上がパナマ籍船であることに触れ、その中で、AMP は日本船主にとって信頼のおけるパートナーであり、今後も顧客志向の姿勢を維持し、ユーザーである日本の船主の声に真摯に耳を傾けて頂きたいとの要請を行いました。

これに対し、フランコ AMP 商船局長は、日本の海運業界からの期待に応えるべく、船籍の有用性向上に向けた努力を行っていくことや、パナマ籍船が諸外国の寄港地で円滑に入港するため、その船主は入港前に技術的な問題を解決すべく、これまで以上に旗国と緊密なコミュニケーションを図るよう呼びかけました。さらに、長澤会長が中東情勢に触れ、ペルシャ湾に留め置かれた本船・乗組員の一刻も早い出域の必要性を強調したことに対し、パナマは国際海事機関（IMO）が提唱する安全回廊の創設を支持する旨発言がありました。



上段左から、越水常務、エスピノッサ セグマル東京チーフ、アグラザル セグマル今治チーフ、篠原理事長、平尾常務  
サンフル在東京総領事館マネージャー

下段左から、加藤副会長、フランコ商船局長、コーエン大使、長澤会長、レオン在神戸総領事